

2019年度スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
千葉県地域ワークショップ 報告書

日時	2020（令和2）年1月28日（火）15：00－16：30
会場	千葉県教育会館大ホール
参加者	95名 （小学校教諭67名、中学校教諭21名、特別支援学級教諭1名、千葉県教育委員会1名、千葉市教育委員会3名、日本体育大学2名）
プログラム	<p>15：00 開会 千葉県教育委員会事務局教育総務部企画課 課長 山崎二郎</p> <p>15：10 実践報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツを探究課題に設定した総合的な学習の時間の実践 千葉県立幕張小学校 教諭 齋藤義則 ・オリンピック・パラリンピック大会を見据えた外国語活動の実践 千葉県立小中台小学校 教諭 大久保龍彦 ・パラスポーツを通してスポーツの多様な楽しみ方を学ぶ保健体育科(体育理論の実践) 千葉県立幕張西中学校 教諭 後藤洋平 ・パラスポーツ体験と関連づけた社会科・美術家でのオリパラ教育の実践 千葉県立花見川中学校 教諭 植木邦彦 ・パラスポーツを軸とした学校全体での教科横断的な学習の実践 千葉県立誉田小学校 教諭 前川良平 <p>16：10 令和2年度以降の取組みについて 千葉県教育委員会教育総務部企画課 指導主事 奈良容平</p> <p>16：30 閉会</p>
内容	<p>開会にあたり、千葉市の資源や取組みを活用してオリンピック・パラリンピック教育の実践を広げてほしいと挨拶があった。</p> <p>続いて、パラスポーツ実践モデル校の5校から実践報告が行われた。それぞれ総合的な学習の時間や外国語、保健体育科、社会科・美術科、学校全体という観点から実践された取組みが報告され、パラリンピック教育を実践する上で既存の取組みと関連させて行うポイントが説明された。</p> <p>最後に、令和2年度以降の取組みについて、競技開催地域における大会に向けた応援作品やパラリンピック観戦、大会終了年度以降も競技用車いすの巡回貸出を継続すると説明があり、競技開催地域であることを活かして引き続きオリンピック・パラリンピック教育実践の協力を促した。</p>



会場の様子



実践報告の様子